

選挙あれこれ 世相雑感

< 1 > 地球の反対側の国の選挙

ペルーの大統領選挙の動きが長期間にわたり、詳しく報道されてきた。

「ペルー初の女性大統領誕生か?」「2人目の日系人大統領誕生か?」「親子二代大統領達成か?」などなど。NHKのニュース報道も、日系人大統領の誕生を期待しているかのような空気を感じさせる報道で、少々異常な民族意識ではないかとさえ感じられた。ただ日系人で名前が日本人と同じだと言うだけで、この女性候補が正義なのかどうかも全くわからない地球の反対側の出来事を異常に加熱報道する意味が理解できない。女性週刊誌の芸能スキャンダル報道のような騒ぎぶりで、尋常とは思えないばかりか深い感さを感じたが、選挙が終わったら何も報道されなくなった。静寂が戻ってほっとしているのは私だけだろうか。

< 2 > 人間の信頼性

東京都知事の政治資金の使途を巡る諸問題は、弁護士による調査結果発表と言う演出で次のステップに進んで時間稼ぎをしようとしたようだったが……。

極度に常識を逸脱した政治資金の誤用は、次元の低さを感じるばかりで、しかも随所に「謝ればいいんだろ!」「返せばいいんだろ!」という姿勢が表れていた。「知事給与を減額する」という武器をチラつかせて収束を狙っているようだったが、もはやそのような議論をすべきタイミングではなかった。

「社会人としてのレベルの低さ」ばかりが浮き彫りになり、この人の話し聞く度に「人間としての信頼性」という言葉が目を追うにつれて増し、四面楚歌・兵糧攻めという古来使われている言葉どおりになり、遂に……。殆どの人が終幕の形を想定できていたにも関わらず、本人だけが全く想定できていなかったようで、全くもって脳みその欠落を感じる。

この先の都政に空白の時間を作り、後任を選ぶお祭が始まる。テレビタレント出身の人物を中心に何人かの名前が上がりに始めているが、各政党の幹部たちにとって都知事なんか誰でもよく、参議院選挙に影響がなければ良いだけだ。猪瀬で失敗、舛添でまた失敗、もうこの次は許されない。こう言う人を選んだ東京の皆さん、骨のある所を見せて下さい。都民の皆さんの常識度が試されます。

記者会見の席上で「皆様にご心配とご迷惑をおかけして大変申し訳ありませんでした……」と謝罪の発言をしたが、我々は心配もしていないし、迷惑がかかったわけでもない。私は千葉県民だから……。

< 3 > 悔い改めよ

世論調査では、「消費税の増税時期が延期になった」というだけで内閣の支持率が上がってしまうという不思議な国の様相。安倍内閣の個々の政策項目ごとに支持・不支持を問うと様々な反応を示す我が国の有権者の方々は、生まれつきの「税金嫌いの国民」である。

この国民性を逆手に取って、「税金を上げない」「税金を上げる時期を延期する」を武器にすることで集票が可能である。国民は利用されていることに気がつかないのだろうか?

野党の一部では、統一候補を立てて自民党の議席減少を目指そうではないかという動きもあるようだ。

仮にこれが功を奏して野党勝利ができ、さらに衆議院解散総選挙となりこれまた勝利となったら……。

連立政権が……ということになるのかもしれないが、政治信条や個々の政策への考え方の不統一は目に見えており、三日も持たない政権となる筈だ。

参議院選挙のことだけで考えているこの策は、その先が見えない野党合流・野党共闘と言わざるを得ず知恵ある市民を牽引する力にはなっていない。

今こそ一般国民の常識ある判断が必要な時、政治意識の高まりが必要なのは、18才から20才までの新有権者達だけではないのだ。